

第10回江東区都市計画マスタープラン2022推進会議【会議録】

開催日時		令和6年8月27日(火) 午前10時30分	
開催場所		江東区文化センター4階第2会議室	
出席者 (敬称略・順不同)		【委員】 ＜委員長＞志村 秀明 ＜委員＞市古 太郎、江守 央、森本 章倫、柳井 重人 【区職員】 地下鉄8号線事業推進室長、都市計画課長、まちづくり推進課長、沿線まちづくり担当課長	
		【議題】	【所管】
		大島三丁目のまちづくりについて	まちづくり推進課
【議事概要】			
No	該当資料	委員の意見要旨	区の回答要旨
1	資料1-4	障害を持つ当事者から意見を聞いて、計画に反映させていただきたい。	障害者の意見も聞いていく。 (まちづくり推進課長)
2	資料1-4	(障害をもつ)当事者参加を実現願いたい。計画上、取り残している対象者をなるべく少なくすることにつながる。	
3	資料1-2	地下鉄出入口の新設については、バリアフリーの観点でも重要なため、引き続き検討をお願いしたい。	
4	資料1-2	地下鉄出入口の新設については、コスト的な問題もあるかもしれないが、引き続き検討をお願いしたい。	地下鉄出入口の新設については、エレベーターで直接地上へつなげることは難しいが、できることを最大限やるよう交通局と協議を進める。(まちづくり推進課長)
5	資料1-1 資料1-2	総合区民センターへのデッキ接続については、公共貢献の一つとして地域の方に評価されているので、なんとか実現してほしい。検討の際には、新大橋通りを跨ぐことになるため、デッキの高さや十分なデッキ幅の確保について検討が必要。	時期をみて、道路管理者との協議を検討する。 (まちづくり推進課長)
6	資料1-2	P24 ピロティ上部の2階デッキが1階商業施設に対して、影響を及ぼしていない計画となっている。 商業施設の一部を2階に持っていくなど、ピロティ上部の2階デッキと1階商業施設との関係を工夫いただきたい。	2階はクリニックモールが入る予定となっているが、今後も検討を行う。 (まちづくり推進課長)

【議事概要】			
7	資料 1-2 資料 1-3	広場1、2について、防災性の確保という面で良い計画であるが、日常の使われ方がより重要である。日常的に広場を有効に使うことで発災時の防災性が向上する。広場の活用について、より検討が必要である。	広場の活用方法については、地域と連携し、検討する。 資料1-3 P27に広場を活用した活動・イベントの事例を示している。 (まちづくり推進課長)
8	資料 1-2	広場の考え方の整理が必要。日常利用、イベント時、発災時で役割が異なる。市民参加による広場づくりの可能性を検討いただきたい。	
9	資料 1-2	江東区はコミュニティガーデンの取組みも展開されているので、広場の活用方法の一つとして検討されたい。	
10	資料 1-2	P24 明治通りについて、道路拡幅をした際に、セットバックを含めると歩道として使える部分が実質的に広がるという認識か。同様に、新大橋通りのA3出入口あたりはどのようになるか。	明治通り側は都市計画道路の拡幅と歩道状空地の確保により歩道が広がるが、新大橋通り側のA3出入口付近の歩道は現状のままである。新たな地下鉄出入口を設置することで、利用者の分散が可能となる。 (まちづくり推進課長)
11	資料 1-2	羅漢寺周辺は、新大橋通り側の歩道拡幅が困難なため、新たな地下鉄出入口を設置することで、歩行者動線の分散を図るイメージで理解した。	